



きちんと

ちょっと

「分別」「ひとしぼり」で 燃やせるごみを減らそう

ごみの減量・資源化にご協力をお願いします！

水切りと乾燥のダブルパンチで水分を減らせ！

「しっかり水切り、こまめに実行」が効果的！

水を切る

生ごみの水分を減らす一番の基本は、「水切り」です。生ごみを捨てる前に「ひとしぼり」する習慣をつけましょう。



★テクニック

お茶がら、ティーバッグなど、水分の多いものは手でギュッとひとしぼり



水切りネット等に入れた生ごみは、コーナーに寄せ、手や皿等を利用してひとしぼり

乾燥させる

しぼっただけでは水分がまだ残っています。水切りに加え、乾燥させることで、効果がぐんと上がります！



★テクニック

水切りの後は、チラシなどで作った紙箱や新聞紙を使って乾燥させたり、かごに入れて乾燥させるなどして、徹底的に水分を減らしましょう！便利な紙箱の作り方は市「生ごみ」で検索で紹介しています。



ぬらさない

野菜は洗う前に皮むきをしたり、むいた皮や芯を別置きしてぬらさないようにしておく、水切りの手間が省けます。



目指せ！「生ごみ減量の匠」

生ごみの水切りや乾燥、生ごみ処理機器等の使用など、生ごみの減量に取り組んでいる方、これから協力いただける方に「生ごみ減量の匠ステッカー」を配布しています。ところろのかわいい限定ステッカーです。皆さんの申請をお待ちしています。



★賞く生ごみリサイクル生ごみ処理機器等の奨励金制度、家庭から出る生ごみを処理する機器を購入した方に奨励金を交付しています。
対象機器 ▶電気式生ごみ処理機▶コンポスター▶EM容器(発酵資材2kg含む)▶通気式生ごみ容器▶その他の生ごみ処理容器
奨励金額 処理機器等の購入価格の2分の1の金額(上限1万円/100円未満切り捨て)
市内在住で、市税を滞納していない方
◎申請方法等の詳細は、資源循環推進課までお問い合わせください。

★お役立ちグッズを活用！通気式生ごみ容器で水分減量、内パケツ、外パケツの二重構造で、容器の表面に細かい穴が開いていて、空気が通るようになっています。3日間で、約20%以上の水分の減量効果があります。奨励金制度(上記参照)の対象機器です。



生ごみを減らそう！

★まだあるよ 生ごみ減量の方法
★生ごみの堆肥化にチャレンジ 生ごみ処理機器等を利用して、生ごみを有機資源に生まれ変わらせることができます。機器購入の際は奨励金を交付します(左記参照)。生ごみ堆肥で野菜作りやガーデニングを楽しんでみませんか。

★買わずに済ませない・残さない 生ごみを減らす基本は「不要なものを買わない」こと。これは生ごみでも同じです。無駄に食材を買って生ごみを増やすだけでなく、家計にもひびきます。また、「食材を上手に使い切る」「食べ残さない」ことで生ごみを減らすことができます。

テクニック2 生ごみの減量

基本は捨てる前にひとしぼり
燃やせるごみの約4割が生ごみです。その生ごみ全体の約7割は8割が「水分」といわれていますので、本市では年間約2万3千トン、7割を占めていますが、分別することによって回収することになります。生ごみに含まれる水分を減らすことができれば、市全体の生ごみ量を大きく減らすことができます！

生ごみの7～8割が水分です

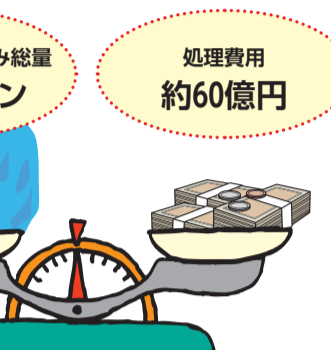
燃やせるごみの中で、簡単に減らしたり、分別することで資源になるものが「雑がみ」と「生ごみ」です。今回は燃やせるごみを減らして、ごみ出しを楽に！しかも環境にも優しいテクニックをご紹介します。

生ごみの7割が燃やせるごみ

燃やせるごみの量は年間約7万6千トンで、総ごみ量の約7割にあたりますが、分別することで資源となるものや、まだ減らすことができるものが含まれています。

燃やせるごみの中で、簡単に減らしたり、分別することで資源になるものが「雑がみ」と「生ごみ」です。

燃やせるごみの中で、簡単に減らしたり、分別することで資源になるものが「雑がみ」と「生ごみ」です。今回は燃やせるごみを減らして、ごみ出しを楽に！しかも環境にも優しいテクニックをご紹介します。



本市で発生するごみの量は、約11万トン(平成22年度)で、市民1人あたりに換算すると1日で、約8.28、年間では約322kgのごみを出していることとなります。また、ごみの処理費用は年間60億円以上ののぼり、財政的な負担や環境への負荷などから、さらなるごみの減量が必要です。

分別の〇×

〇 出せるもの
▶菓子箱▶包装紙▶紙袋▶服のサイズ札・値札▶トイレットペーパーなどの芯▶カレー・レトルト食品などの箱▶プリンタ用紙▶コピー用紙▶リーフレットなど
▶雑がみに付いているホチキス針は取り外さなくても支障ありません。

× 出せないもの
▶シールおよびシールの台紙▶アイロンプリント紙▶感熱紙・感熱紙のレシート▶カーボン紙▶洗剤、たばこの箱(においが付着しているため)▶紙コップ・紙皿▶お酒のパックなど

分別

雑がみと燃やせるごみの分別方法を確認し、きちんと分別しましょう。紙製のものでも雑がみとして出せないものがありますので、左図を参考に分別方法をもう一度確認してください。

★紙袋を使用すると便利です！
雑がみは大きさまさままで小さいものが多いので、紙袋に入れて、ひとまとめでしばって出してください。ごみ箱の横に紙袋を置き、そこに捨てるようにすると便利です。しぼるひもは、プラスチック

テクニック1 雑がみは資源です！

あなたも今日から雑がみマスター！
何げなく、ごみ箱に捨ててしまいがちな菓子箱や包装紙など、燃やせるごみの中にはリサイクルできる「雑がみ」が多く含まれています。捨てる前にもう一度「資源」か「ごみ」かを考えましょう。

回収

分別してまとめた雑がみは次のいずれかの方法で出してください。
▶「新聞・雑誌・雑がみ・段ボール」の収集日に「ごみ集積所」へ「集団資源回収(子ども会・自治会などで実施)へ」
▶「地域で進めるリサイクル」「集団資源回収」
▶「新聞・雑誌・雑がみ・段ボール」の収集日に「ごみ集積所」へ「集団資源回収(子ども会・自治会などで実施)へ」
▶「地域で進めるリサイクル」「集団資源回収」

製でも構いませんが、紙ひもを使用するとそのままリサイクルできません！

新聞・雑誌・雑がみ・段ボールだけでなく、古布、かん、生きびんも対象です。限りある資源を有効活用するために、ぜひ集団資源回収にご協力ください！

雑がみは、資源化工場で、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、板紙、固形燃料などに生まれ変わります。